

多摩境駅から箭幹八幡宮（やがらはちまん）まで旧町田街道と境川に沿って歩きました（17,000歩）。そこには神社やお寺が残され、矢部では800年前に活躍した横山党の武士矢部義兼（よしかね）の板碑や居館に土塁跡、そして箭幹八幡宮では八幡太郎義家（よしいえ）の伝説を探り、“強者（つわもの）どもの夢の跡”を知りました。



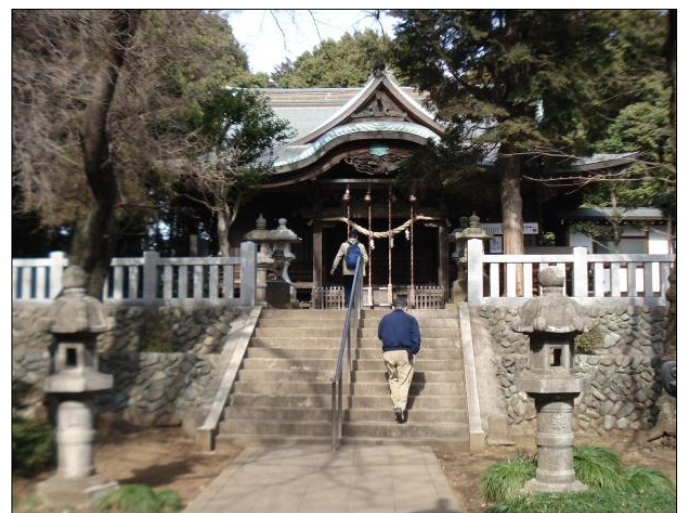
蒼龍山長泉寺（曹洞宗）



お昼は浜焼市場のしらす丼で腹づつみ



箭幹八幡宮の随身門



箭幹八幡宮本殿に参拝